

議員提出議案第16号

東京都シルバーパスに所得に応じた費用区分を増やすことを求める意見書

上記の議案を提出します。

令和元年10月16日

中野区議会議長 高橋 かずちか 殿

提出者	中野区議会議員	ひやま 隆
		渡辺 たけし
		河合 りな
		甲田 ゆり子
		若林 しげお
		いながき じゅん子
		南 かつひこ
		長沢 和彦

東京都シルバーパスに所得に応じた費用区分を増やすことを求める意見書

高齢者の移動手段確保は、地域における高齢者の暮らしを守る施策であり、自動車運転免許証の自主返納が議論されている昨今、公共交通機関の利用環境の整備が重要な課題となっています。このような中、東京都のシルバーパス制度は、高齢者の外出の機会を増やし、社会参加を促すなど、介護予防や健康増進にも寄与しているといえます。

制度発足当時は無料でスタートしたシルバーパスは、現在、住民税非課税又は所得125万円以下の高齢者は1,000円。それ以外の高齢者は一律2万510円の費用負担となっています。この制度のあり方について、東京都では20歳以上の都民を対象とした実態調査を実施しており、調査結果をふまえた制度の見直しが注視されます。制度の趣旨を達成するためにも、誰もが利用しやすい制度に改善するとともに、今後も持続可能な制度としていくことが求められています。

よって中野区議会は、東京都に対し、シルバーパスの費用負担額について、所得に応じた段階的な費用区分を設定するなど、制度の改善を図ることを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

年 月 日

東京都知事 あて

中野区議会議長名